

東日本大震災復興祈念・デビュー50周年記念

## 加藤登紀子コンサート ～終わりなき旅～

「わせねでや」から3年、加藤登紀子さんが歌手生活50周年の節目に、塩竈でコンサートを行います。「愛の讃歌」「百万本のバラ」のほか、震災後に作られた「今どこにいますか」など復興への思いを込めた明日への讃歌をお楽しみください。

1. 日 時：平成27年6月27日（土） 15：00開場 15：30開演

2. 場 所：遊ホール

3. チケット：前売2,000円 当日2,500円

※平成27年度「文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業」の補助を受けて実施します。

4. これまでの加藤登紀子さんとの関わり

平成24年 TBC東北放送「桂島“うた”プロジェクト」において故郷の島を想う歌「わせねでや」が同プロジェクトで誕生。

4月 塩竈—桂島間の定期便で船内放送開始

5月 「加藤登紀子 with みちの空」桂島でミニライブ開催

7月 加藤登紀子さん、ヒザシさん（作曲者）が塩竈市役所を訪れ、桂島の皆さんへCDを贈呈

平成26年7月 CD売上の一部を塩竈市に寄付



### ■「桂島“うた”プロジェクト」

TBC東北放送ホームページより

東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県。TBCテレビ「ウォッチン！みやぎ」で、震災後、ある一人の女性を取り上げた。塩釜・浦戸諸島に位置する桂島に住む内海和江さん（77）だ。震災直後、体育館で避難所生活を余儀なくされた彼女は、周りの苛立つ姿や切実な声を聞きながら、桂島の風景に想いを馳せ、1週間と経たないうちに詞を綴った。その様子を放送した番組を見て、募る気持ちを抑えられず、メールを送ったのが、ロックバンド、ザ・キャプテンズでエレキギターを務めるヒザシだった。彼は、番組ディレクターと共に内海さんと会い、避難所や桂島を幾度となく訪ね、島民の想いを書き連ねていった。そうして出来上がった詞に、震災前の島の風景が目の前に広がってくるような美しいメロディをつけた。その後、多くのミュージシャンの賛同を得て、完成した楽曲が「わせねでや」である。

市民交流センター

TEL 365-5000



Tokiko 50th  
ANNIVERSARY



東日本大震災復興祈念・デビュー50周年記念

# 加藤登紀子コンサート

終りなき歌

平成 27 年 6 月 27 日 (土) 午後 3 時 30 分開演 (午後 3 時開場) 塩竈市遊ホール  
(春番館5階)

## 【チケット】

前売 **2,000** 円 (当日 2,500 円)

この事業は平成 27 年度文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業の補助を受けています。

## 【プレイガイド】

松尾カメラ、メロディーズ、フジサキスポーツ、ミュージックスタジオ キューブ、美容室マサヒコ、喫茶ノンノン、しおがま・まちの駅、ヤマザキショップ塩釜すすきや店、遊ホール協会(春番館4F)、金犬くん利府店、多賀城市文化センター、カワイミュージックショップ仙台  
ローソンチケット(Lコード:22367)・チケットぴあ(Pコード:258-640)

主催:塩竈市遊ホール協会 後援:マリネット・BAY WAVE 78.1 問い合わせ:塩竈市遊ホール協会 電話022-365-5000 〒985-0052 塩竈市本町1番1号

加藤登紀子さんからのメッセージ

## 胸いっぱい、想いを抱きしめて！

東日本大震災の後、初めて塩釜へ行ったのは、2012年の2月。とっても寒い日で、地元の人も「こんなに寒いのは、初めてだな」とおっしゃるくらいでした。塩釜港からフェリーに乗って、浦戸諸島の桂島へ。津波の後の想いを詩に綴った内海和江さんの「わせねでや」を、レコーディングすることが決まって、初めて内海さんにお会いするためでした。桂島の浜にはまだ小舟が打ち上げられており、津波で流されて一軒も家がなくなってしまった一带には、瓦礫をかたづけられた袋が積み重ねられてありました。

でもその春、CDジャケットの写真を撮りに行った時には、海を見下ろす丘一面に菜の花が咲き、去年音楽番組の収録でお尋ねした時には、海開きされた浜に、元気な子供たちの声が弾けていました。復興への力強い歩み、心から拍手を贈りたいです。その間、何度か塩釜で歌うチャンスがあったのですが、なかなか実現できず、この度のコンサートでやっと歌えます！

今年は歌手、加藤登紀子の50周年。これまで歌ってきた歌の中から、出来るだけたくさん歌いたいと、張り切っています。「赤い風船」「ひとり寝の子守唄」「時代遅れの酒場」「この空を飛べたら」…。後半には震災の後に作った「今どこにいますか」や「青いこいのぼりと白いカーネーション」。そして大切な「愛の讃歌」「百万本のバラ」など歌います。

アンコールの最後には是非みなさんと「知床旅情」や「わせねでや」をうたいましょう！コンサートの頃にはもう夏が近づいて、海開きの準備が進んでいることでしょう。胸いっぱい、想いを抱きしめて、明日への讃歌を歌います。楽しみにね！

加藤登紀子

塩竈市遊ホール  
Shiogama Yu Hall

〒985-0052 塩竈市本町1番1号 老番館5F  
電話 022-365-5000  
FAX 022-365-4100

E-mail  
yuu-hall@city.shiogama.miyagi.jp

web site  
<http://www.city.shiogama.miyagi.jp/shiminkoryu/shise/ka/shisetsu/yuhall.html>

